

演 題：鶏の肝臓の腫瘍

機関名：千葉県東総食肉衛生検査所

氏 名：吉野 学

動物名：鶏 品種：ホワイトコーニッシュ系（♂）×ホワイトロック系（♀）

性別：不明 日齢：56日齢

発生状況：平成 23 年 5 月 7 日から 28 日までに当所管内食鳥処理場で処理された A 農場のブロイラー40,410羽のうち2,019羽（約5%）の肝臓や脾臓に白色腫瘍や腫大が認められ、そのうち3羽について病理組織学的検査を実施した。

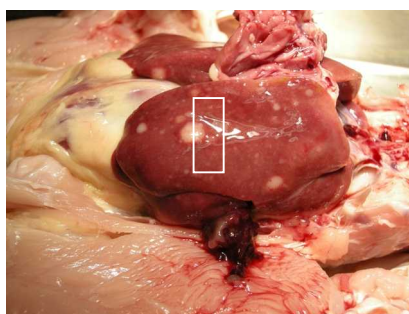
生体所見：やや削瘦するも、他に異常を認めず。

内臓所見：肝臓は腫大し、針頭大から小豆大の白色腫瘍を多数認める。また脾臓も軽度に腫大する。

組織所見：腫瘍部では、血管周囲にリンパ球様腫瘍細胞の多発性巣状の増殖を認め、肝臓の一部では固有構造が消失しており、周囲組織との境界は不明瞭であった。腫瘍細胞は大小不同で、核は淡明なものから濃染するものまで多彩で、複数の核小体を持つものも認めた。脾臓では、固有構造が不明瞭で、肝臓と同様の腫瘍細胞の浸潤を認めた。ファブリキウス囊ではヒダ表面に腫瘍性病変が形成され、また腺胃では粘膜固有層に腫瘍細胞の浸潤を認めた。免疫染色（シンプルステイン：ニチレイ）の結果、腫瘍細胞はCD3（DAKO）に陽性を示した。

固定方法：20%中性緩衝ホルマリン

切り出し部位：



行政処分： 全部廃棄

組織診断名：T細胞性リンパ腫

疾病診断名：マレック病